

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

- ◆自己評価
 - スタッフ個別評価・・・・・・・・・・(ス-①～⑨)
 - 事業所自己評価・・・・・・・・・・(事-①～⑨)

- ◆外部評価
 - 外部評価 (地域かかわりシート①) ・・・・(地①-1～3)
 - 外部評価 (地域かかわりシート②) ・・・・(地②-1～6)

- ◆小規模多機能型居宅介護 「サービス評価」 総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年3月23日 (18:00)	～
------------------	-----	-------------------	---

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	佐藤 西村 小田 小川 高橋 後藤 長谷川 山戸 大瀬良 近藤 藤岡
--------------------	------	---------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	2人	2人	11人

前回の改善計画

前年同様、新規利用者の利用開始前にはミーティングを実施し情報の共有と利用後のケアの統一を図るとともに、ケアの内容については職員の意見を聞き入れ、また、自分達で考える事を意識付けていく。

前回の改善計画に対する取り組み結果

利用開始前の新規利用者様のミーティングは、実施出来ている時と出来ていない時があり、必ずしも情報の共有に至らない点もあつたが、自分達で考えて行動することは出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	3	1	2	11
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	6	2	1	11
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	5	0	1	11
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	4	1	1	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・新規利用者が安心して利用できる様に、職員間でケア統一などを共有出来ていると思う。

・情報共有もミーティングを通じて行っています。

・職員間で「こうした方が良い」という発言をしてくれました。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・ご本人様、ご家族様が本当に望んでいる支援が出来ていないのではないかと感じる事があつた。

・職員同士の声掛けが不足している。

・本人の不安に思つてることに対する配慮やニーズについてのミーティングはできてないと思う。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

これからも新規利用者様の利用開始前にはミーティングを行い、本人への声掛けや気遣いを工夫し、不安を取り除くような配慮をする。また、均等なケアを心掛け行動する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施
日

令和2年 3月 23日 (18:00~21:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー

佐藤 西村 小田 小川 高橋 後藤 長谷川
山戸 大瀬良 近藤 藤岡

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	2人	2人	11人

前回の改善計画

利用者様本人の「～したい」という事に関して、一部の積極的な職員しか実践できていないが、今後は全職員が積極的に関わる事ができるよう意識改革をしていく。

前回の改善計画に対する取り組み結果

職員全員が利用者様の自己実現の把握には至ってなく、必要性を理解していない部分も見られた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	4	2	3	11
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	4	3	2	11
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	3	2	11
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	5	1	3	11

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・今までの介護経験を生かし、気付いた点は出来ていないスタッフにスムーズに伝え、全職員が利用者様への気遣いや配慮ができるように伝えている。

・利用者様の目標を把握し、それが達成出来るようなかかわりをしていると思う。

・利用者のまず出来る部分から始めてもらえるように声掛けをする。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・ケアプランの目標を、細かく把握できていない。

・「～したい」については、自分が教わったことについては取り組めるが、教わっていないことは実現してあげられない。

・スタッフと共感ができない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

利用者様のケアプランの確認を徹底し、利用者様の自己実現に貢献する。

職員間での情報の共有を心掛け、意識の統一を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年3月23日(18:00)～

3. 日常生活の支援

アドバイザー 佐藤 西村 小田 小川 高橋 後藤 長谷川
山戸 大瀬良 近藤 藤岡

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	5人	1人	1人	11人

前回の改善計画

前年に引き続き、利用者様本人としっかりとコミュニケーションを図ることが出来る職員と出来ない職員がいるため、ケアの仕方・対応にバラつきがあり一貫性がなかった為、今後は情報を共有し、支援方法を統一させ、利用者様本人の希望に沿った支援をする。しかし、本人の希望を聞きすぎることに伴うデメリットもあるため、臨機応変に対応していく。

前回の改善計画に対する取り組み結果

利用者様によっては自我が強い方もいて、本人の希望に沿えない所もあったが柔軟に対応することはできている。しかし利用者様との意思疎通が不十分な部分も感じられた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	5	3	11
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	5	0	0	11
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	4	0	4	11
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	3	1	1	11
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	5	3	0	11

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 利用者本人にあった対応をし、日々体調の変化など特変にもすぐに気づける様に心掛ける。
- 一貫性できるような他、職員と話し合ったり、1人1人と違うコミュニケーションを取り、ただ話すのではなく普段と何か違うなど感じ取るように接している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- コミュニケーションを取る上であまり適格ではない言葉や行動がわからない為、親しくなれない状況がある。
- 個々の利用者様の以前の事など、全部を把握していないところがある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

生活歴や今までの関わりなどの情報はこれからも収集し、その利用者様らしい暮らしを支援し実施する。

事一③

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年3月23日(18:00)～

4. 地域での暮らしの支援

講師 佐藤 西村 小田 小川 高橋 後藤 長谷川
川 山戸 大瀬良 近藤 藤岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	4人	3人	11人

前回の改善計画

地域資源を活用しながら、これまでの生活スタイルを維持し、家族や地域との関係が切れることが無いような支援をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域資源にどんなものがあるのか理解していない職員が多く、活用の仕方に相応な支援には至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	4	4	2	11
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	3	4	2	11
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	3	1	4	3	11
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	0	6	3	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- これまでの暮らしや生活スタイル、家族様のお話をされた時は耳を傾けて、本人と一緒に理解するようにしている。
- その方の居室での行動パターンを把握しています。その時に沿った支援ができるようご家族にお話ししています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 地域資源を活用したレクリエーションは出来ませんでした。職員が足りなく外出があまりできませんでした。
- 自宅での過ごし方や地域との関わりまで確認する余裕がない。
- ご利用者様の過去の生活スタイル、人間関係の把握が不十分である事。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

積極的に職員が地域資源の把握に努め、ご家族様との交流を通して利用者様の心地の良い場所を提供する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施 令和2年3月23日(18:00)～
日 21:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

カンパ 佐藤 西村 小田 小川 高橋 後藤 長谷川
山戸 大瀬良 近藤 藤岡

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	0人	1人	11人

前回の改善計画

引き続き利用者様の日々の様子をしっかりと把握するとともに、情報共有 記録管理 報連相を徹底する。
利用者様の希望に出来るだけ沿えるように、柔軟に対応する。

前回の改善計画に対する取り組み結果

職員の能力や資質に個人差があつて情報共有、記録管理、報連相の徹底を全ての職員が行うことはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	5	0	3	11
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が適切に提供されていますか?	6	4	0	1	11
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	4	2	0	11
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	4	1	0	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者様の様子をみて、ニーズに合わせた柔軟な対応が出来ていたと思う。

・利用者様個々に合わせて支援し、日々のかかわりで利用者様の変化にもすぐに気づく事ができる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・地域の資源を使つての事ができていない。

・変化に気付く事ができても共有ができていない。

・日々の本人の変化に気づけなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

情報共有、記録管理、報連相はこれからも徹底周知し、利用者様の状態やその変化に気付けるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年3月23日(18:00)～

6. 連携・協働

講師 佐藤 西村 小田 小川 高橋 後藤 長谷川
山戸 大瀬良 近藤 藤岡

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	2人	5人	11人

前回の改善計画

引き続き町内会をはじめ、地域の機関 学校等とも連携し様々なイベントや行事 また、利用者様の生き甲斐また支えになれるよう協議していく。

前回の改善計画に対する取り組み結果

職員不足もあり、事業所でのイベントや行事は少なかったが、できることをし、地域の連携に努めることはできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	2	1	7	10
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	1	8	10
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	1	1	8	11
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	1	3	5	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・町内会、婦人会などで、餅つき大会を行っている。その際近所の子供達も集まり賑わっている。
- ・サービス機関との連絡は行えている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・イベント行事が少ないため参加できていない。
- ・会議に参加する機会があまりないため。 ・勤務外での参加は難しい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

事業所のイベント、企画運営力を身につけ、地域や関係機関との繋がりを切らさないで連携を保持する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年3月23日(18:00～)

7. 運営

講師 佐藤 西村 小田 小川 高橋 後藤 長谷川
山戸 大瀬良 近藤 藤岡

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	4人	3人	11人

前回の改善計画

事業所の運営に関して、まだまだ理解不足の面があり職員の声を反映させにくいこともある為、ミーティングを通して意見をくみ取った事業所運営をしていくと共に、地域や家族から必要とされる取組が出来るような体制づくりを強化していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

運営に関してのミーティングはできてはいない。職員の声も聞き取れてはいない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	4	3	3	11
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	4	2	11
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	4	3	11
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	2	4	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者様や介護者からの意見は素直に聞いて、自分なりに業務には反映されていると思う。
- ・上司に報告、申し送り、申し送りノートで伝達している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域との連携が自分自身ではとれていない。 ・職員間での話し合いなどが出来ない。
- ・意見を言わない。
- ・地域の方々からの意見や苦情を、耳にすることがない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

ミーティングでは決まった職員からの意見が多く、他の職員にも積極性をもって発言をする機会を作り、その中で運営に反映する協議を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施 令和2年3月23日(18:00) ~ 日 21:00)

8. 質を向上するための取組み

講師 佐藤 西村 小田 小川 高橋 後藤 長谷川
山戸 大瀬良 近藤 藤岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
前回の課題について取り組みましたか?					
①	2人	4人	3人	2人	11人

前回の改善計画

職員の資質を向上させるための職場内研修は、引き続き多種多様実施していく。また、職場以外での外部研修についても、希望の有無関係なしに積極的に参加を促し、個々のレベルアップにつなげていく。リスクマネジメントについては常日頃から実施しているが、事故対策委員との連携が取れておらず 危機管理能力がやや弱い傾向がある為、特に力を入れていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

内部研修や外部研修への参加も一部の職員しかできておらず、個々のレベルアップに差がある。リスクマネジメントについても危機感が足りないように思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加しますか	1	3	4	3	11
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	3	5	11
③ 地域連絡会に参加していますか	0	1	3	7	11
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	4	2	3	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・危機管理に関しては、常に考えて行動している。
- ・職場内でやる研修は参加している。

・全体的にあまりできてないが、リスクマネジメントに取り組んでいると思います。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・職場外での研修や、資格取得やスキルアップの為の研修には参加できていない。
- ・研修の情報があっても、前日に言われる事が多く参加できなかったり、内部研修をしてくれる様な職員の方の勤務が少なくなり困惑している。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

職員に差はあるものの、研修や勉強会にはこれから自発的、積極的に参加するように促し、職員本人の向上に意識を持っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 3 月 23 日 (18 : 00 ~)

9. 人権・プライバシー

講師 佐藤 西村 小田 小川 高橋 後藤 長谷川
山戸 大瀬良 近藤 藤岡

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	4人	1人	1人	10人

前回の改善計画

身体拘束・虐待について、職員それぞれの捉え方が不鮮明な部分が多く、定義として定まっていない部分があり食い違いが発生していることもあったが、今後は学習会を多く実施し制度説明や知識不足を補う取り組みも実施していく。また、利用者様に対する声掛け等の対応も、バリデーションをしっかりと学習し適切な対応をしていく。

前回の改善計画に対する取り組み結果

言葉の掛け方や虐待について一部、理解不足の点も見られたが即時対応した。また、学習会の実施もできていないため再度勉強会の開催を設ける。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	8	3	0	0	11
② 虐待は行われていない	6	3	1	1	11
③ プライバシーが守られている	6	3	1	1	11
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	3	4	1	3	11
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	6	4	0	1	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者様の人権を尊重するように心がけ出来ていたと思う。

・利用者個人ごとにその人の気持ちになるような、話し方や発言をするように努力している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・認知症の方をトイレ誘導した際、必要以上にドアを開けてしまった事。

・個人情報の管理が出来なかった。 ・成年後見制度を活用。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

引き続き、身体拘束や虐待について注意を払い、誤解を招くような言葉の使い方や発言に配慮する。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わから ない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	3		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	3		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	3		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	2		1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

--

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

--

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

--

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

--

【改善計画】※後日記入

今後とも職員に対し積極的に意見を述べる機会を多く与え、自分たちにとって働きやすい環境を整備できるよう求めていく。働く側の意識改革を積極的に行って行く。

--

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わから ない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	1	1	1
2	事業所は、居心地がよい空間になっていますか？	3		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	3		
4	日中、事業所の門や玄関にかぎはかかっていますか？	3		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

開所5年を迎え事業所の認知度も更に拡大させ、地域密着型の本筋に沿った運営をしていく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

【今回の改善計画】※後日記入

事業所内に設備されているカフェを利用して、利用者様やご家族様の会話が広がる空間を作る。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わから ない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		
1	職員はあいさつできていますか？	3		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	1	1	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	2		1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	1	1	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

引き続き地域にある支援学校と連携をとり、様々な実習の受け入れと介護人材の確保と知名度を上げる取り組みを行う。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

事業所を地域の方により利用していただけるよう行事、集会、イベントの参加を増や
す。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わから ない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	2		1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3		
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	2		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	1		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

地域会議での活動内容の中から、看取りに関する評価が非常に高くその取り組みについては今後も引き継ぎ取り込んでほしいとの話もあった為、事業所側として積極的に取り組む。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

【改善計画】 ※後日記入

看取りの取り組みについてはこれからも継続し、医療機関との連携を怠らない。事業所全体の技量を向上させていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	2		1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	1		2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	2		1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	1	1	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

<p>【前回の改善計画】 運営推進会議を定期的に開催し、町内会や地域住民の意見を聞き取り、事業所運営に活かしていく。また、地域の特性を活かしたイベント等を実施し、開放的な事業所であることをしっかりとアピールしていく。</p>	
<p>【運営推進会議を活かした取組み】をテーマにした自由意見】</p>	
<p>【改善計画】※後日記入</p> <p>ご本人様、職員、ご家族様、地域の方々の会議への参加を更に進めていく。また、参加をしやすいような環境を整える。</p>	

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1		2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1		2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1		2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	2	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

防災訓練に関しては引き続き実施するが、地域の特徴である防水対策として事業所入口、非常口入り口に止水坂の設置を検討。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

事業所内での避難訓練、防災訓練は繰り返し実施。
AEDの使用また、救急法の学習会を実施する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	日成工業株式会社	代表者	池田 郁乃	法人・事業所の 特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・調理師免許保持者、又は料理が得意な職員による利用者様への料理提供。 ・重度の方でも対応可能なスロープ浴槽での入浴を提供。 ・介護職員による、利用者様、家族様に対する丁寧な対応。 ・独自の社内研修を実施し、職員の資質向上を図る取り組みをしている。
事業所名	小規模多機能つどいの郷八重桜	管理者	三河 秀治		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	1人	1人	人	11人	人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後も職員に対し積極的に意見を述べる機会を多く与え、自分達にとって働きやすい環境を整備できるよう求めていく。働く側の意識改革を積極的に行って行く。	職員間の申し送り、ミーティングや全体会議の中で意見を聞くことはできたがまだ足りないように感じられる。これからも改善を目指す。		今後も職員に対し積極的に意見を述べる機会を多く与え、自分達にとって働きやすい環境を整備できるよう求めていく。働く側の意識改革を積極的に行って行く。
B. 事業所のしつらえ・環境	開所5年を迎え、事業所の知名度を更に拡大させ、地域密着型の本筋に沿った運営をしていく。	地域の場所柄的に認知度を拡大させるには至らなかったが、地域密着型の関わりは持てた。		事業所内に設備されているカフェを利用し、利用者様やご家族様の会話が広がる空間を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	引き続き地域にある支援学校と連携を取り、様々な実習の受け入れと介護人材の確保と知名度を上げる取り組みを行う。	今後も地域の支援学校と連携を取り、介護人材の確保の取り組みは行う。		事業所を地域の方々により、利用していただけるよう、行事、集会、イベントの参加を増やす。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	地域会議での活動内容の中から、看取りに関する評価が非常に高く、その取り組みについては今後も引き続き取り組んでほしいとの話もあった為、積極的に取り組む。	利用者様の中で看取りを行う方が該当しなかったが、この取り組みを引き継ぎ職員間の中で意識付けていく。		看取りの取り組みについてはこれからも継続し、医療機関との連携を怠らない。事業所全体の技量の向上を図る。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を定期的開催し、町内会や地域住民の意見を聞き取り事業所運営に活かしていく。また、地域の特性を活かしたイベ	運営推進会議の開催や、外部評価の意見を踏まえて地域への参加を積極的に増やす。		ご本人様、職員、家族様、地域の方々の会議への参加を更に勧めていく。また参加しやすい環境を整える。

	ント等を実施し、開放的な事業所であることをしっかりとアピールしていく。			
F. 事業所の 防災・災害対策	防災訓練に関しては引き続き実施するが、地域の特徴である洪水対策として事業所入口・非常口入り口に止水坂の設置を検討。	洪水対策としての止水坂の設置は必要であればこれからも検討。防災訓練の取り組みは行えている。		